

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会
プライマリ・ケア認定薬剤師研修会
「生活習慣改善の行動変容」、
「精神科の地域連携と自殺予防」他
—6 時間コース—

(2018 年 1 月 7 日 日曜日) 東京開催案内

【一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会は日本医学会の第 109 分科会です。そして、プライマリ・ケア認定薬剤師制度は公益社団法人薬剤師認定制度認証機構(GPC)から「特定領域」の認定制度としての認証(認証番号 P02)を取得いたしております。】

薬剤師の本質はジェネラリストですが、生活習慣を変えるための行動変容手法や精神科領域の研修は数が少ないのが現状です。今回は生活習慣を変えるための行動変容手法の基礎から実際までロールプレイやグループワークを通して学びます。また、疾病の知識と共につづ病者やその家族にどのように対応するか、自殺をどう予防するかの極めて重要な多職種協働や地域連携を学びます。認定試験直結のご講演に奮ってご参加ください。

(細則による必須領域 : A, B, D, E, F, I, J)

要 項		
1	主 催	一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア薬剤師認定制度委員会、生涯学習委員会
2	研修開催日	平成 30 年 1 月 7 日(日)
3	研修会場	アーバンネット神田カンファレンス 2階2A 〒101-0047 東京都千代田区内神田三丁目 6 番 2 号 アーバンネット神田ビル 2 階 案内図 http://kanda-c.jp/access.html
4	認定単位	薬剤師:4単位(認定薬剤師単位)、医師:5単位(更新のための単位)
5	受講資格	薬剤師、医師、歯科医師、看護師、医療職、医療関係者
6	定員	72 名(スモールグループ形式)
7	受講申込	締切り:平成 29 年 12 月 19 日(火)午後 5 時 ホームページからの申込による先着順となり、定員になり次第締切ります。 電話、ファクシミリ、メールによる申込は受付けておりません。
8	受講振込	申込を受理後、順次ご入金方法についてメールでご案内させていただきます。 ※ 指定期日以内にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご留意願います。
9	受講料	11,000 円 但し、日本プライマリ・ケア連合学会会員は 9,000 円 ※ 受講料入金後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。
10	情報交換会 (先着 20 名)	1 月 7 日(日)17 時 10 分より。 会場:ブラスリー セント・ベルナルデス(アーバンネット神田ビル 1F) 希望者は受講申し込み時にお申し込みください。料理+飲み放題で参加費 5,000 円
申し込み先 : 日本プライマリ・ケア連合学会事務局担当係 プライマリ・ケア認定薬剤師研修会事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀 1-4-8 日栄ビル 703A 有限会社あゆみコーポレーション内 TEL:06-6449-7760 FAX:06-6441-2055 jpca@a-youme.jp		

プログラム

2018年1月7日(日)

9:00～	受付
9:20～10:50	<p>①「生活習慣改善指導の実際～行動変容基礎編」</p> <p style="text-align: right;">講師：石橋 幸滋</p> <p>長年染み付いた生活習慣を変えることは難しい。しかし、生活習慣の改善がなければ、たとえ1型糖尿病といえどもインスリン投与だけではコントロールできないのが糖尿病である。このセッションでは、糖尿病を例に生活習慣を変えるための具体的な方法を、行動変容手法の基礎から実際までロールプレイやグループワークを通して学ぶ。</p> <p>(細則による必須領域：A, B, E, J)</p>
11:00～12:30	<p>②「生活習慣改善指導の実際～行動変容応用編」</p> <p style="text-align: right;">講師：石橋 幸滋</p> <p>糖尿病患者の生活習慣を改善することは極めて重要であるが、簡単なことではない。嗜好の問題だけでなく、健康に対する価値観、仕事や付き合いなどの社会生活状況、生育歴なども大きく影響する。そこで、このセッションでは、肥満の2型糖尿病患者の初発例、食べることが大好きな患者、運動が嫌いな患者、付き合いが多くアルコールが止められない患者などの例を用いて、患者の生活習慣を変えるための指導をロールプレイやグループワークを用いて学ぶ。</p> <p>(細則による必須領域：A, B, E, J)</p>
12:30～13:20	昼食 (各自お取りください)
13:20～14:50	<p>③「うつ病患者の診断・治療・ケアのポイント」</p> <p style="text-align: right;">講師：石橋 幸滋</p> <p>うつ病患者の診断と治療の重要性は言うまでもないが、うつ病患者やその家族にどのように対応するか、特に自殺をどう予防するかは極めて重要である。また、そのためには多職種協働や精神科と一般科の連携、病診連携などの地域連携が不可欠である。このセッションでは、うつ病の予防や早期発見からうつ病患者のケア、そして患者と家族を支える地域連携を紹介し、自分たちで何ができるかを考える。</p> <p>(細則による必須領域：A, D, F, I, J)</p>
15:00～16:30	<p>④「精神疾患における地域連携～自殺予防における薬剤師の役割を考えよう」</p> <p style="text-align: right;">講師：西村 由紀</p> <p>精神疾患のケアをするためには医師や薬剤師だけではなく、様々な職種が関わる必要がある。加えてその職種が有機的に連携することで重症化を予防したり、最悪の自殺という結果を予防したりできる。このセッションでは、精神疾患患者を支援するNPO 法人メンタルケア協議会の豊富な活動を基に、実際の症例を通して薬剤師として何ができるのか、何をすべきなのかを参加者と共に考える。</p> <p>(細則による必須領域：A, F, I, J)</p>

20分以上の遅刻・早退は原則単位になりませんのでご注意ください。

【講師紹介】

(敬称略)

石橋 幸滋 石橋クリニック院長、東久留米市医師会会長
西村 由紀 NPO 法人 メンタルケア協議会理事